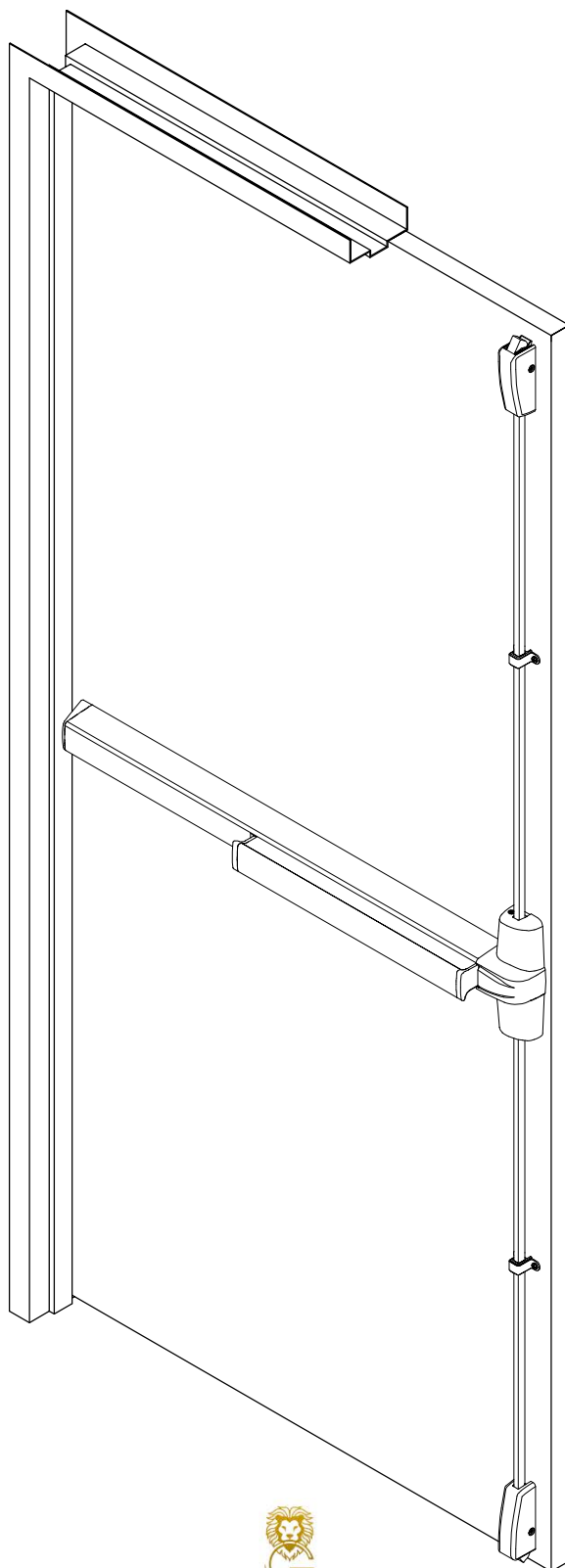


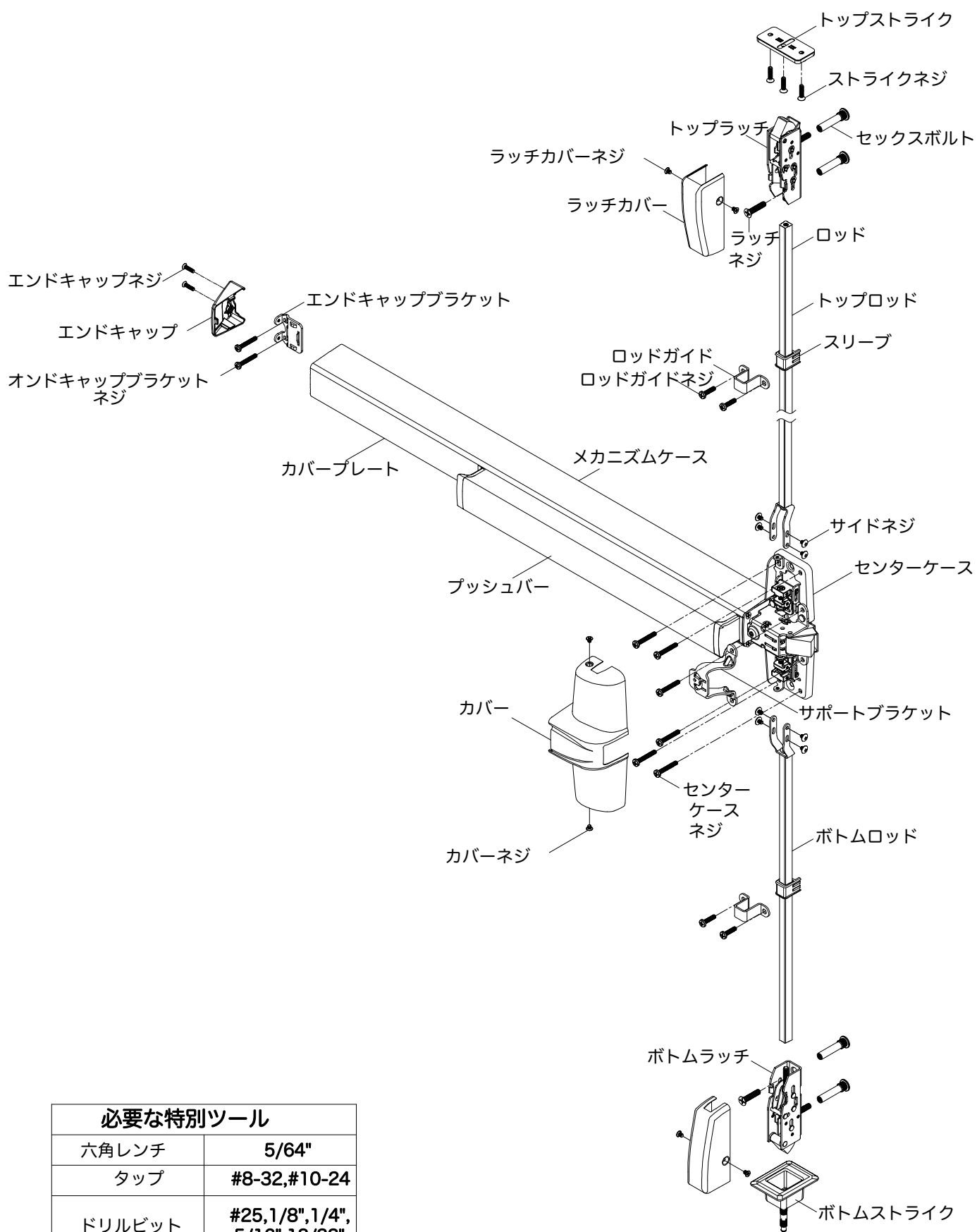
Klacci®
life unlocked.

1200 / F1200 パニックバー 面付垂直ロッド式

取付説明書

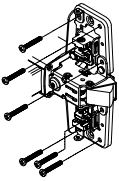
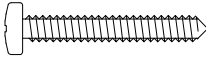
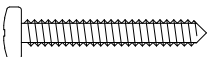
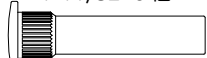
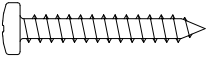
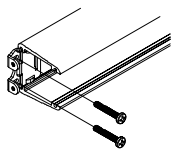
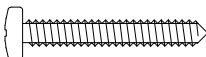
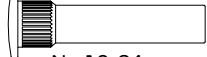
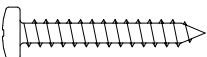
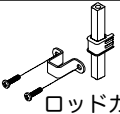
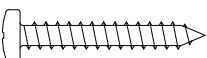
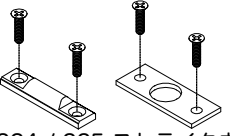
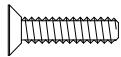
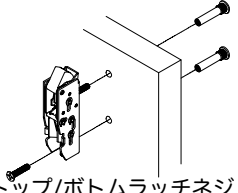
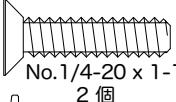
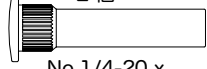
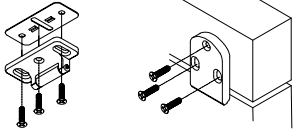
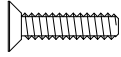
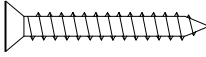
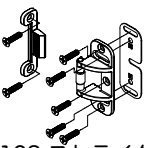
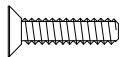
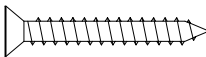
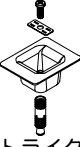
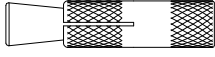
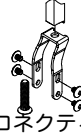
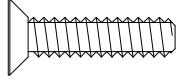
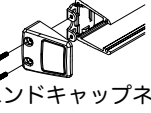


WD-OD002(479)



必要な特別ツール

六角レンチ	5/64"
タップ	#8-32, #10-24
ドリルビット	#25, 1/8", 1/4", 5/16", 13/32"
スPEEDドリル	5/8" (木製ドア)

使用するネジ表			
アプリケーション	鋼製ドア	セックスボルト	木製ドア
 センターケースネジ	③  No.10-24 x 1-11/32" 6 個	③  No.10-24 x 1-11/32" 6 個 ⑦  No.10-24 x 1-3/32" 6 個	①  No.10-12 x 1-11/32" 6 個
 エンドキャップブラケットネジ	③  No.10-24 x 1-11/32" 2 個	③  No.10-24 x 1-11/32" 2 個 ⑦  No.10-24 x 1-3/32" 2 個	①  No.10-12 x 1-11/32" 2 個
 ロッドガイドネジ	④  No.10-24 x 25/32" 4 個		①  No.10-12 x 1-11/32" 4 個
 224 / 225 ストライクネジ	⑤  No.10-24 x 11/16" 2 個		
 トップ/ボトムラッチネジ		⑥  No.1/4-20 x 1-1/6" 2 個 ⑧  No.1/4-20 x 1-3/32" 4 個	
 106 / 215 ストライクネジ	⑤  No.10-24 x 11/16" 3 個		②  No.10-12 x 1-11/32" 3 個
 108 ストライクネジ	⑤  No.10-24 x 11/16" 7 個		②  No.10-12 x 1-11/32" 7 個
 227 ストライクネジ	⑨  No.1/4-20 x 5/8" 1 個	⑩  No.1/4-20 x 5/8" 1 個	
 サイドネジ&コネクティングネジ	⑥  No.1/4-20 x 1-1/6" 2 個	⑬  No.8-32 x 7/32" 8 個	
 エンドキャップネジ	⑪	 No.8-32 x 5/8" 2 個	
 カバーネジ	⑫	 No.8-32 x 5/32" 6 個	

ドアの準備表

ラッチ

鋼製ドア

7.9mmドリル(デバイス側)
10.3mmドリル(トリム側)

木製ドア

10.3mmドリル(貫通)

トップストライク

鋼製ドア

#25ドリル+#10-24タップ
M5用ドリル+タップ

木製ドア

2.3mmドリル
パイロット深さ 25mm

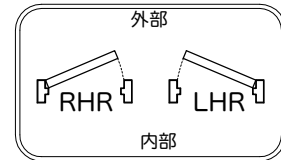
ロッドガイド

鋼製ドア

#25ドリル+#10-24タップ
M5用ドリル+タップ

木製ドア

2.3mmドリル
パイロット深さ 25mm



センターケース - 4 穴

面取り付け	セックスボルト又はトリム
鋼製ドア	鋼製ドア
#25ドリル+#10-24タップ M5用ドリル+タップ	6.3mmドリル(デバイス側) 10.3mmドリル (トリム側)
木製ドア	木製ドア
2.3mmドリル パイロット深さ 25mm	10.3mm ドリル貫通

RHRを示す(LHRは逆)

エンドキャップブラケット - 2穴

面取り付け	セックスボルト
鋼製ドア	鋼製ドア
#25ドリル+#10-24タップ M5用ドリル+タップ	6.4mmドリル(デバイス側) 10.3mmドリル(トリム側)
木製ドア	木製ドア
2.3mmドリル パイロット深さ 25mm	10.3mmドリル 貫通

デバイスの錠前側が固定され、ヒンジ側のデバイスの水平が確認できたら取り付け穴を開けます。

ドアの切り欠き



外側のシリンダーの取り付け：テンプレートで印をつけ：
鋼製ドア（デバイス側にみ切り欠き）
木製ドア（貫通穴）



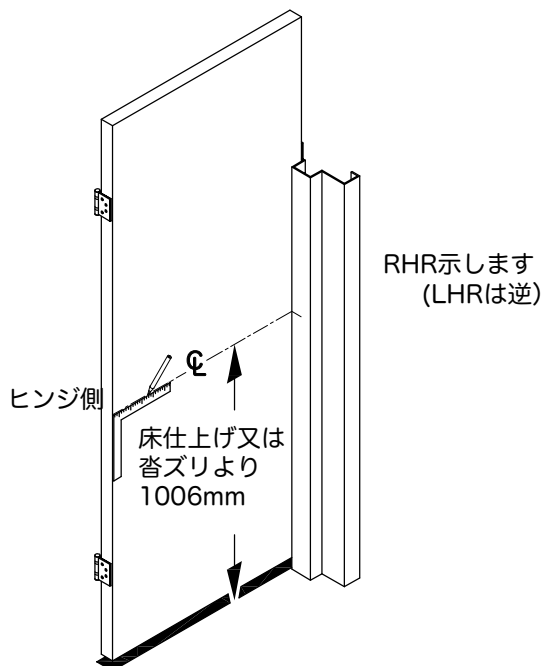
レバー、サムピース、ノブを使ってトリムを操作する場合：テンプレートにマークを付けて切り欠きます：（デバイスの側のみをカットします）

ボトムストライク

#25ドリル+#10-24タップ
M5用ドリル+タップ

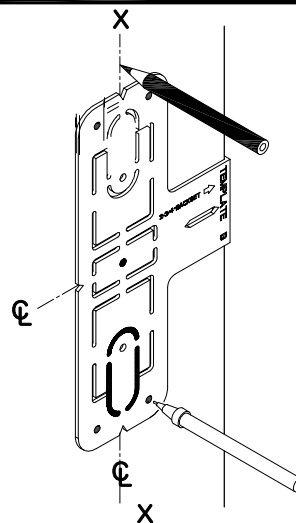
テンプレートでストライクのバリエーションを参照

1 水平の中心線を引く



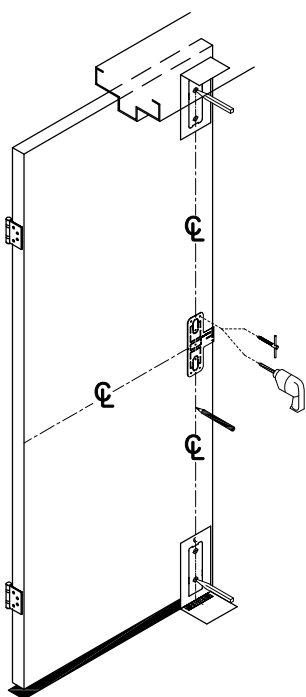
図のように、床仕上げ又は沓ズリから1006mmのドアの内側面に水平中心線を付けます。（トリムが使用されている場合は、水平中心線をドアの外側の面にも付けます）

2 図の様にテンプレートをドアに当て 印を付ける



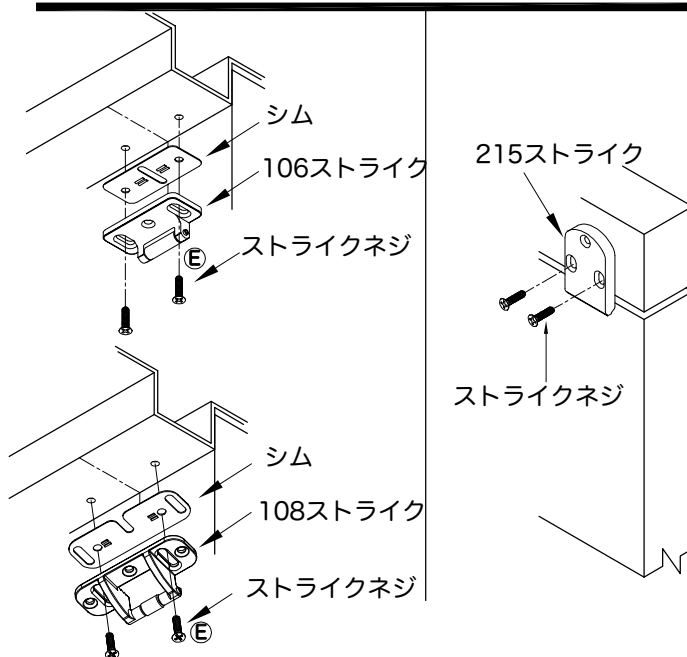
垂直中心線X-Xに水平中心線の上下に印を付けます。
（トリムを使用している場合は、ドアの外側面に同じバックセット寸法を使用して、錠前側の垂直中心線に印をつけます）。
注意：ドアの端から同じ寸法の両側に垂直な中心線があります。ドアの先端がベベルで斜めの場合は、特に注意してください。X-X垂直中心線がドアの先端に平行であることを確認してください。

3 トップとボトムのテンプレートを 中心線に整列、 ドアの切り欠き準備をします



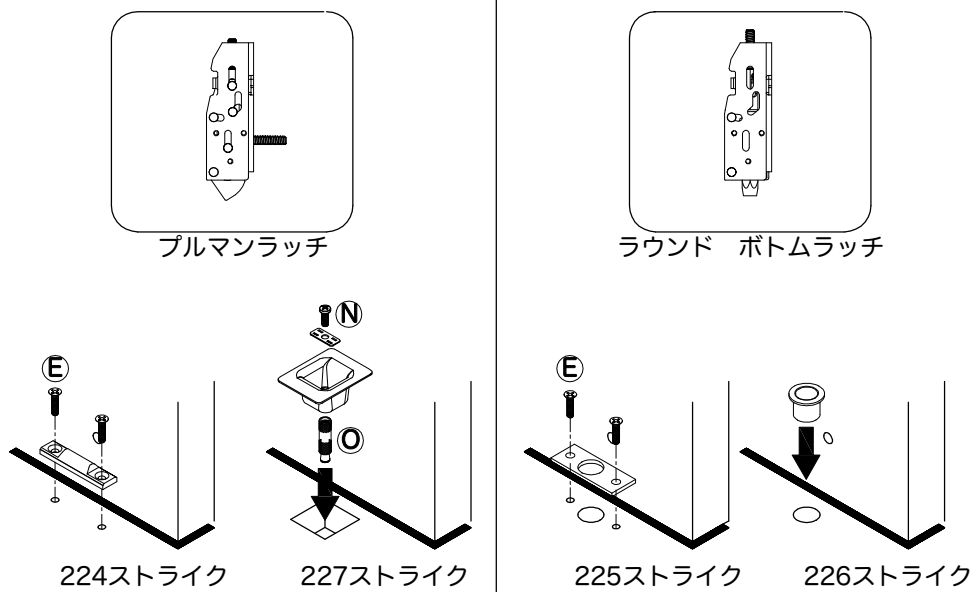
1. ストライクのテンプレートを折り畳んでドアストップとドアの内側に配置します。テンプレートの垂直中心線は戸当たりとドアの垂直中心線と並行です。
2. 戸当たりとドア面にテンプレートを貼り付けます。
3. テンプレートの表示通り、中心線とドリル/タップ穴の印をつけます。ドリル/タップ、および切り欠きの情報については、4ページの「ドアの準備表」を参照してください。

4 トップストライクとシムの取付



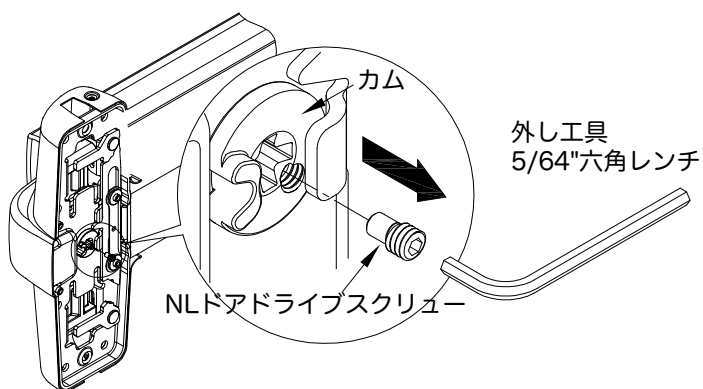
各スロットにネジを取り付けます。

5 ボトムストライクの取付



1. 取付の為に床にの印を付け、ストライクと付属のネジ等のタイプに応じて準備します。 ボルトと床に隙間を設けてください。
2. 沓ズリに取付る場合：ストライクとネジのタイプに応じて、穴を開けてください。

6 NLドライブスクリューの使用を決定

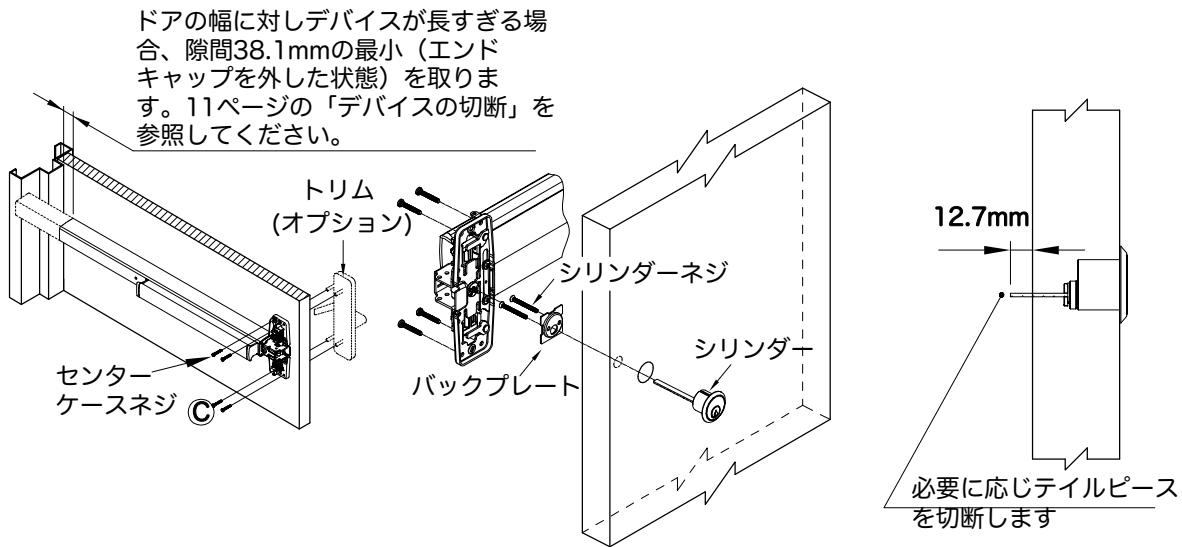


NLドライブネジ

NLドライブネジは工場にてセンターケースの裏側のカムに組み込まれています。 NLドライブネジがセンターケースに残されている場合、外側シリンダはナイトラッチ（常時施錠）としてのみ機能します。

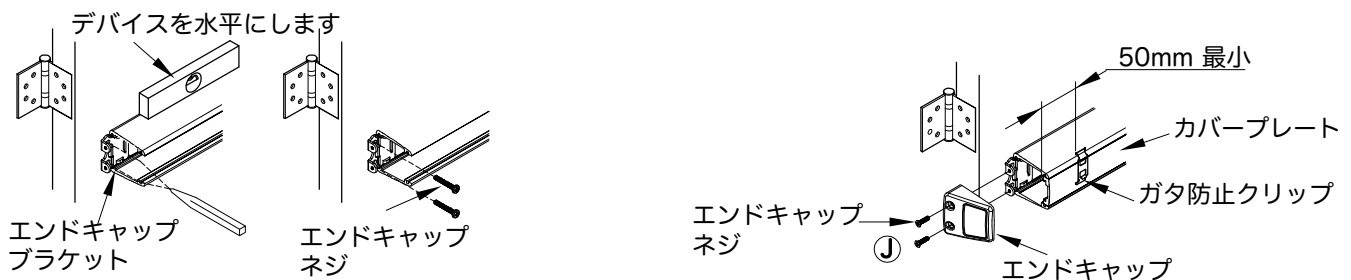
- NOTE:**
1. プルプレートまたはナットラッチシリンダー付きのエスカッションを使用する場合、NLドライブネジは外さないでください。
 2. 機能レバー、ノブ、またはサムピースを備えたトリムと外側のシリンダーを取り付け、トリムを施錠または解錠する場合は、NLドライブネジをセンターケースの背面から取り外します。

7 トリム（もし使う場合）とデバイスのセンターケースをドアに取り付ける



1. トリム付きのデバイス - 「トリム手順」を参照してください。
2. シリンダーのみ - 図示のシリンダーバックプレートをシリンダーに取り付けます。テールピースがドアの内側の面から12.7mm伸びていることを確認します。テールピースをセンターケースのカムに挿入し、センターケースのネジ4本でドアに取り付けます。
3. 出口専用 - センターケースを4本のセンターケースのネジでドアに取り付けます。

8 取付用ブラケットとエンドキャップを取り付ける



1. カバープレートを取り外し、エンドキャップブラケットをプッシュバーアセンブリに差し込みます。デバイスの水平を取ります。ブラケット取付ネジの2つの穴の印をします。エンドキャップブラケットをネジでドアに固定します。
2. カバープレートを挿入し、ガタ付き防止クリップを所定の位置にスライドさせ（端から50mm以上）、エンドキャップを2本のエンドキャップネジで取り付けます。

9 トップラッチとロッドの取付 最終ページに詳細説明があります

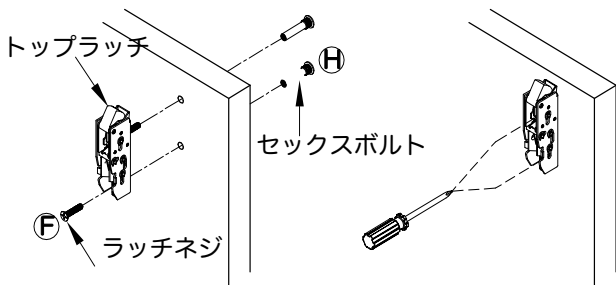


図1

1. 2本のネジ（セックスボルト）で上部ラッチを取り付けます。デバイスが拘束されることなくラッチされるようにストライクを調整します。図1を参照

2. 図2に示すように、ロッドの長さを決定します。必要に応じロッドの端部を切断しタップをしてください。10ページの「トップロッド / 延長トップロッドの切断」を参照してください。

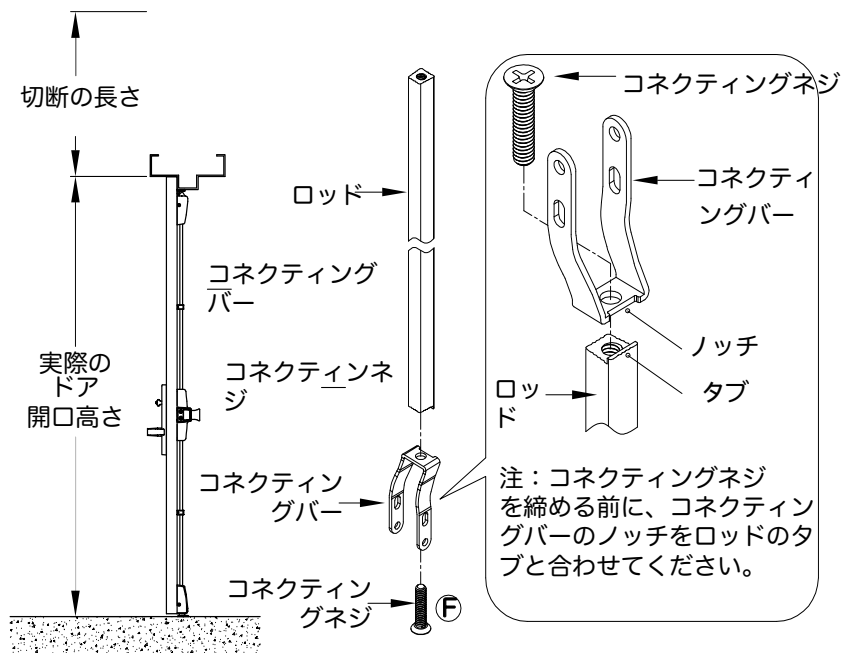
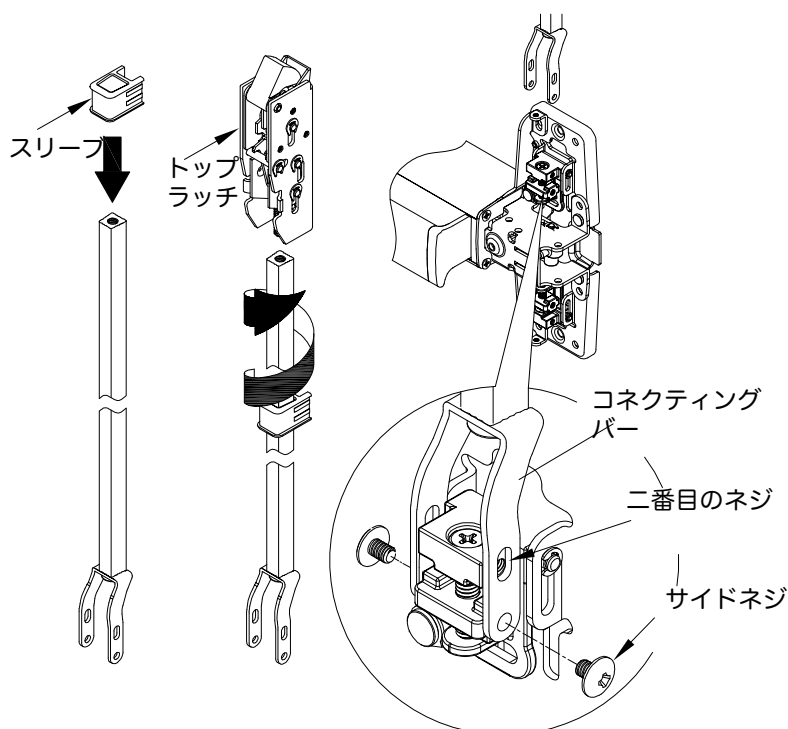


図2

図3

3. コネクティングネジをコネクティングバーの丸穴に通しロッドにねじ込み緩めます。図3参照

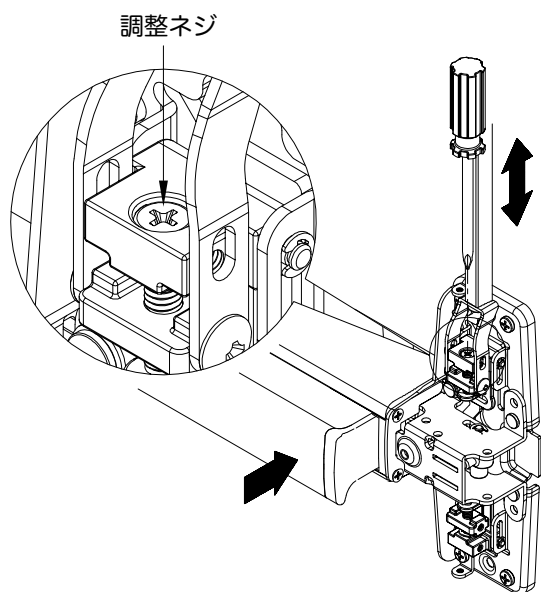


4. ロッドとスリーブを組み立てます。コネクティングバーの最初の穴がリトラクターの1番目の穴と一直線になるようにトップラッチにねじ込み、サイドのネジを締めます。

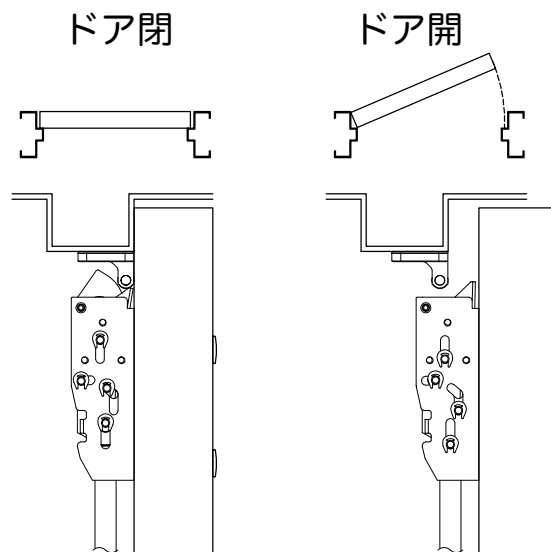
パニックバーとトップラッチをドアに取り付けた後、トップロッドをセンサーケースに取り付け、トップロッドとトップラッチの位置を合わせます。トップロッドがラッチのロッド接続ネジの横にある状態で、ロッド接続ネジの先端から約8mmまで測ります。この位置でロッドをカットします。下図を参考にしてください。ラッチのロッドコネクティングスクリューは、ロッドのネジ山の長さが約8mmになるようにしてください。

10 トップラッチのホールドバックとデッドロック確認

最終ページに詳細説明があります

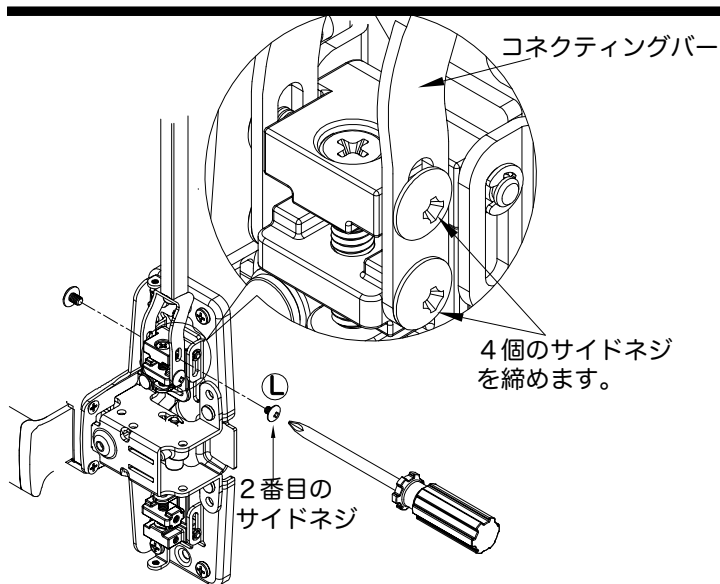


1. プッシュバーを押すと、ラッチボルトが引き込まれドアは開きます。ラッチボルトは引っ込んだままになり、デバイスはホールドバック（保持）の状態になります。この保持がない場合は、ドライバーでリトラクターの上のネジを調整します。



2. 完全に出切ったラッチボルトはデッドロック状態にあるはずですが、この場合デッドロック状態のラッチボルトをラッチハウジングに押し込むことはできません。デッドロック状態にならない場合、ネジを緩め、ストライク位置を調整します。

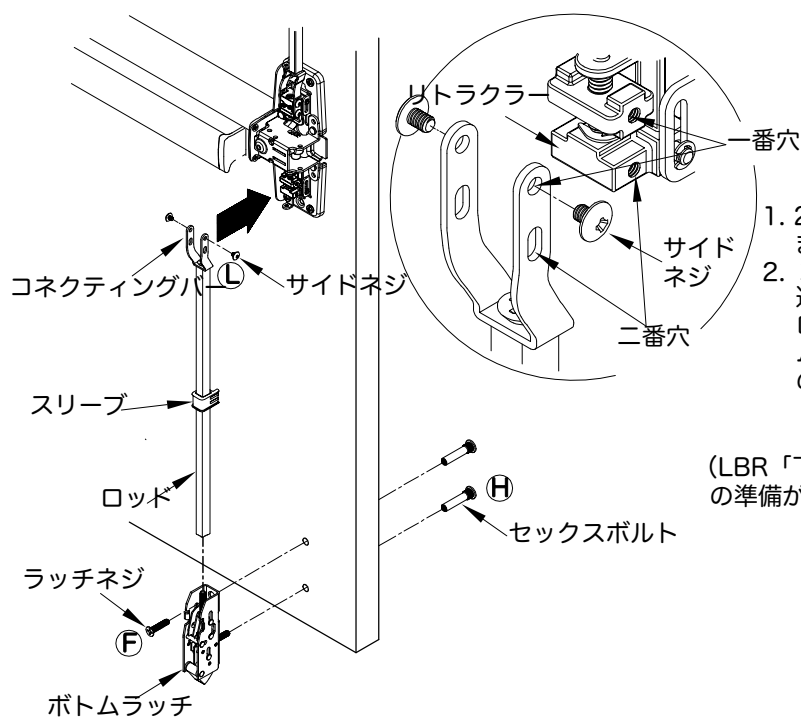
11 2個のサイドネジの固定



コネクティングバーの2番目の穴に2個のサイドネジを両側からリトラクターの第2の穴に通し、締めます。

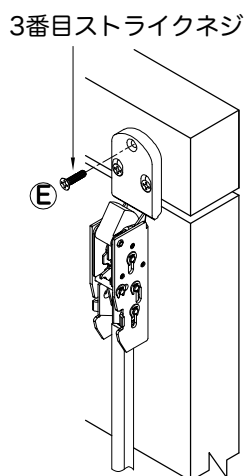
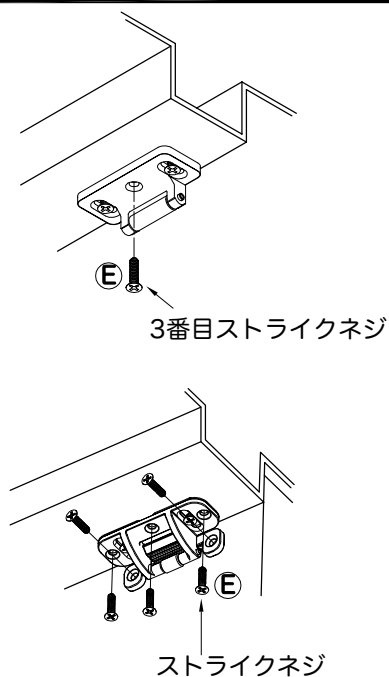
12 ボトムラッチとロッドの取付

最終ページに詳細説明があります



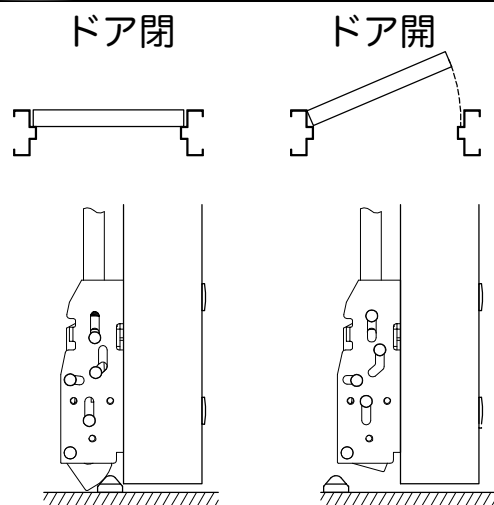
1. 2本のネジ（セックスボルト）で下部ラッチを取り付けます。
2. コネクティングバーの丸い穴にコネクティングネジを通し、ボトムロッドにねじ込み締めます。スリーブをロッドに組み込み、ボトムラッチのスタッドにボトム・ロッドをねじ込み、コネクティング・バーの最初の穴がリトラクターの最初の穴にくるようにし、サイドネジを締めます。

(LBR「下部ロッドなし」デバイスの場合、下部のラッチとロッドの準備が省略されます)



3. 調整が完了したら、ストライクの穴に3番目のねじを取付けて締めます。

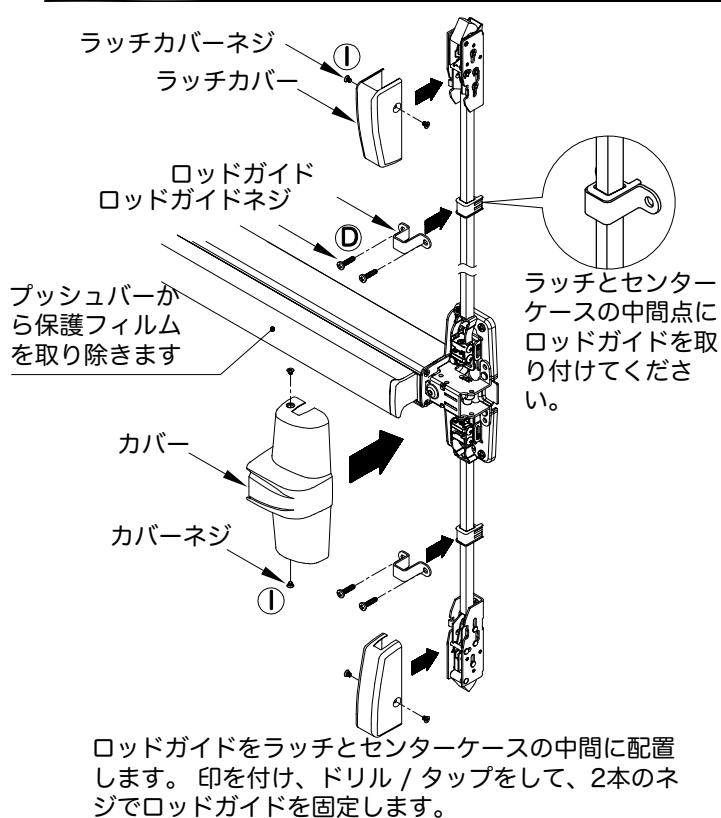
13 ドアを開いたままボトムロッド を調整します (トップラッチは引き込み状態)



1. プッシュバーを押して、デバイスをホールドバックの状態にします。ボトムラッチボルトはボトムストライクに当たらないようにドライバ等でリトラクターを調整し、必要に応じてロッドを再調整します。

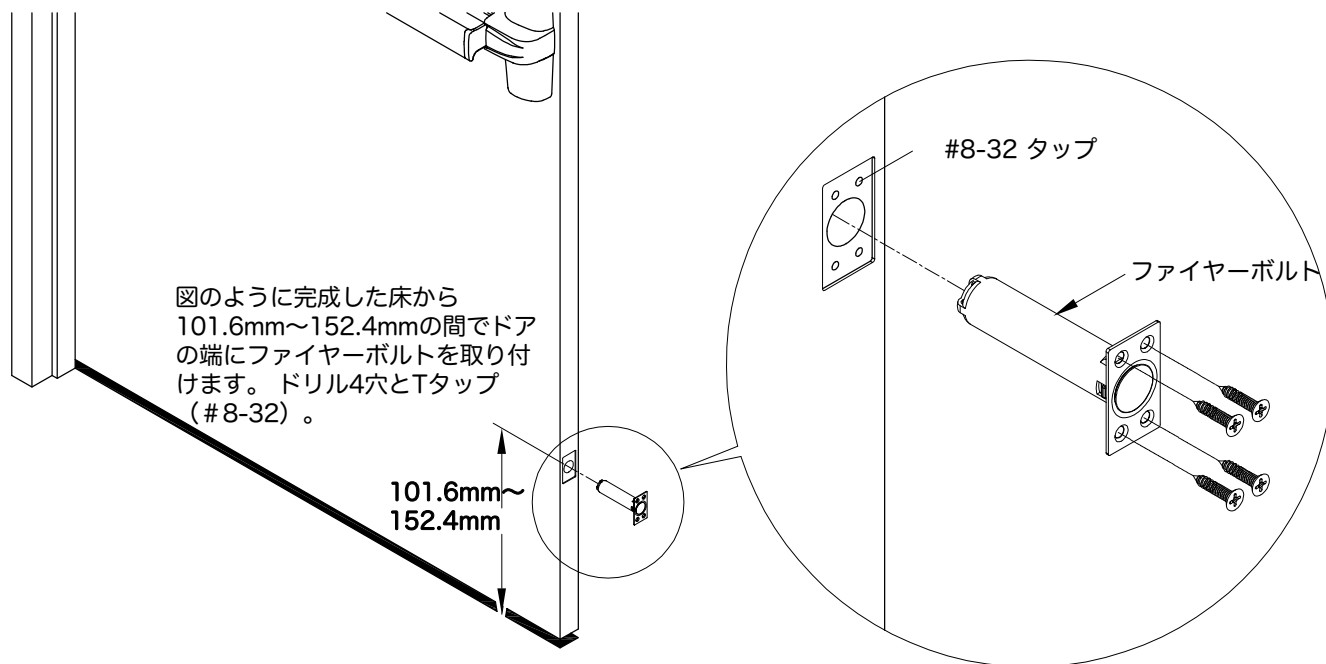
2. 調整完了後、2個のサイドネジを固定します。ドアを数回開閉し、ドアが閉じた時、ロック状態になったかを確認します。

14 ロッドガイドとカバーを取り付け



ロッドガイドをラッチとセンターケースの中間に配置します。印を付け、ドリル / タップをして、2本のネジでロッドガイドを固定します。

ファイアーボルトの取付



注：ボトムロッド（LBR）を使用しないアプリケーションの場合、ファイアーボルトを使用する必要があります。

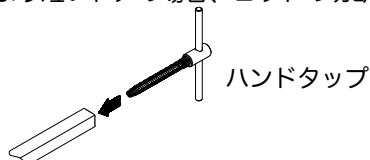
トップロッドの切断 / トップロッドの繋ぎ延長

トップロッドの切断

ロッドの平らな側から
切断します

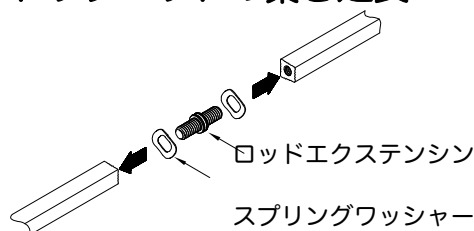
ステップ1：ロッドの平らな面を確認し、ロッドを切
断する量を測定する。

注：2,133mmより短いドアの場合、ロッドの切断が
必要です。

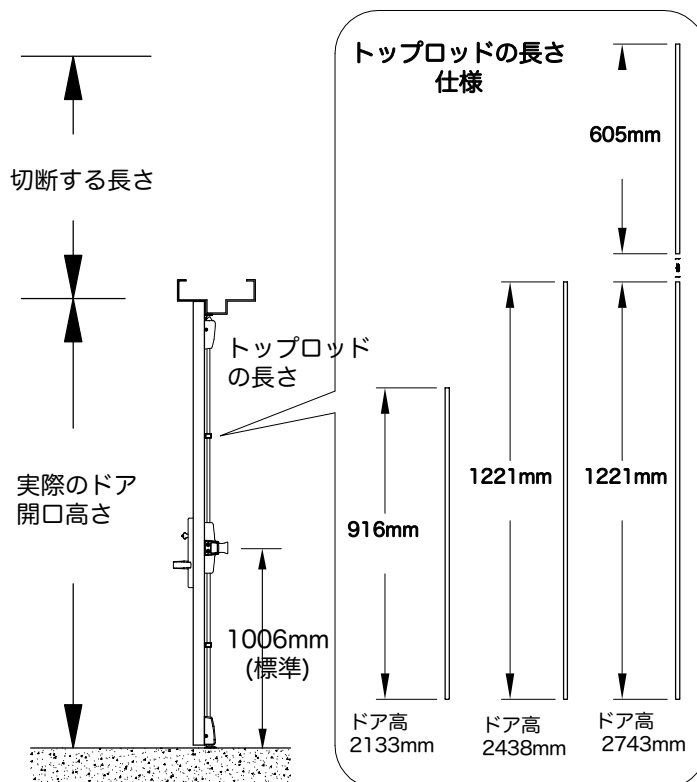


Step 2: タップ#1/4-20 ; 深さ25mm

トップロッドの繋ぎ延長

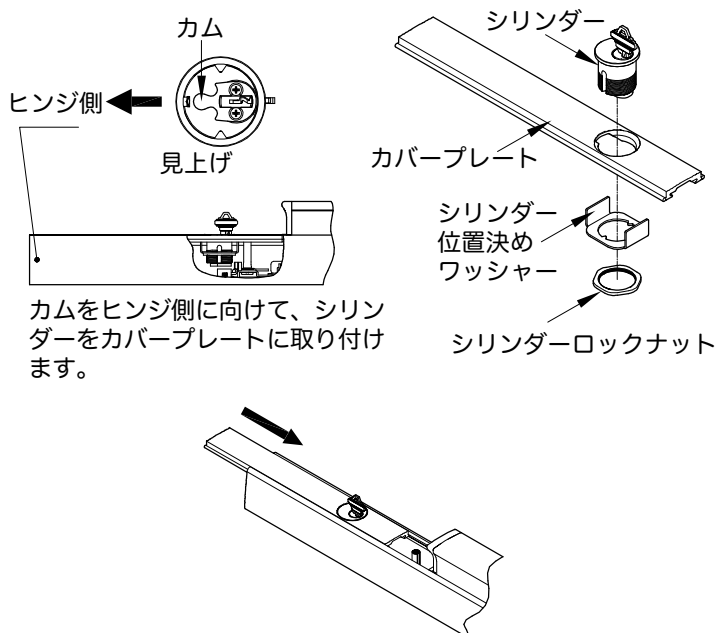


2本のロッドをしっかりと接続するためにロッド延長部
とスプリングワッシャーを取り付けます。



オプション・ドッキング

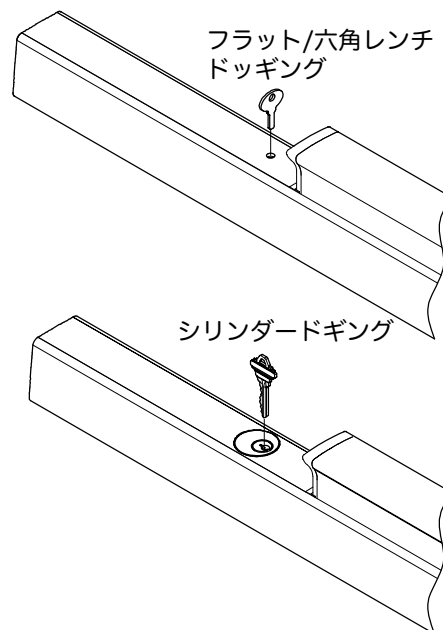
シリンダー・ドッキング



カムをヒンジ側に向けて、シリンダーをカバープレートに取り付けます。

カバープレートをメカニズムケースの所定の位置にスライドさせます。

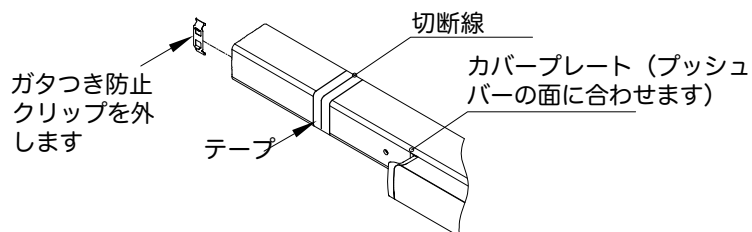
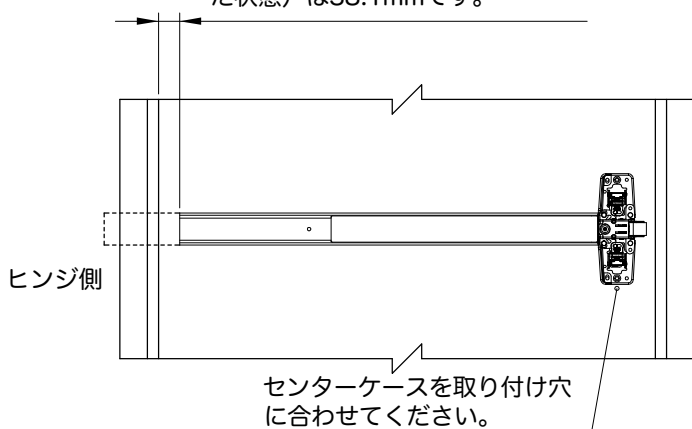
ドッキングのチェック



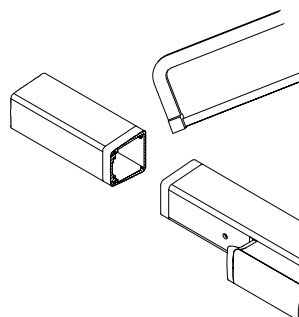
プッシュバーを押し込み、フラット/六角レンチを1回転回すか、ドッグチェックのためにキーを1回転します。

デバイスのカット (必要に応じて)

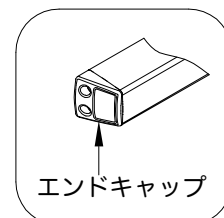
ドア枠とデバイスの間の推奨最小クリアランス（エンドキャップを外した状態）は38.1mmです。



1.ガタつき防止クリップを外した状態で、テープ印の部分を切断します。

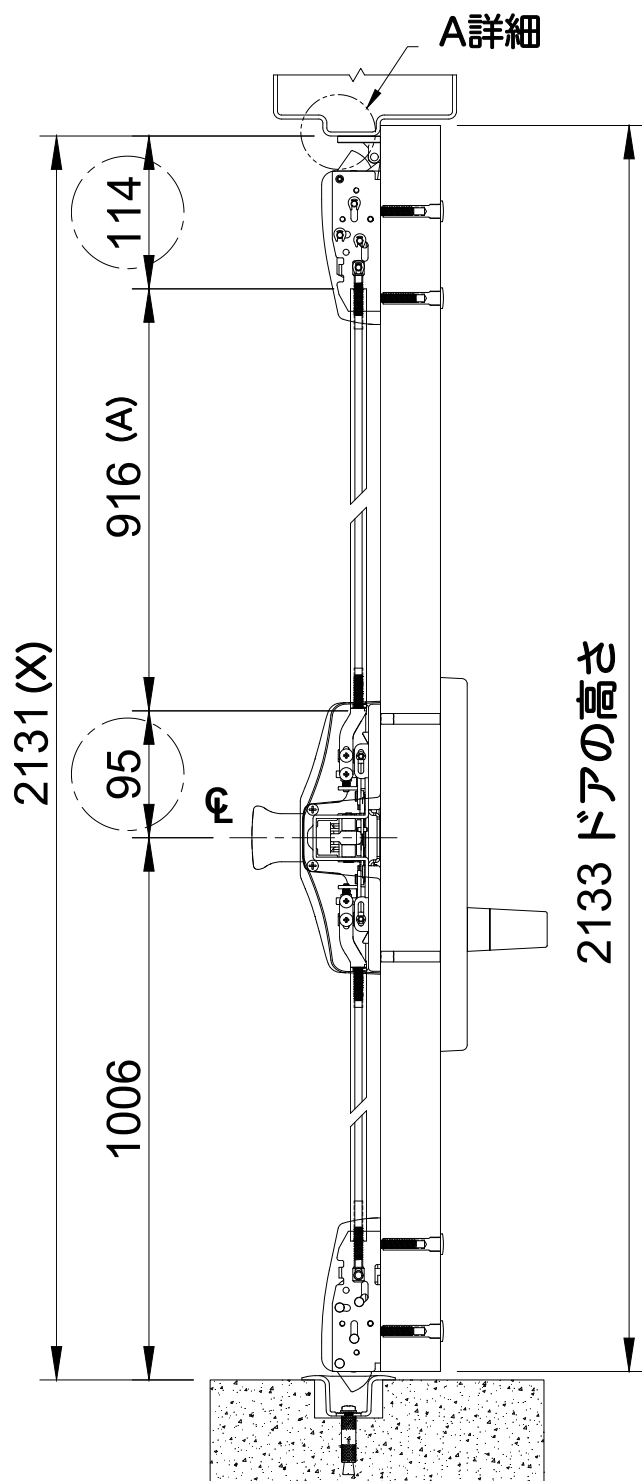


2.デバイスを切断します。
注：エンドキャップを正しく取り付ける為に、デバイスを直角に切断する必要があります。

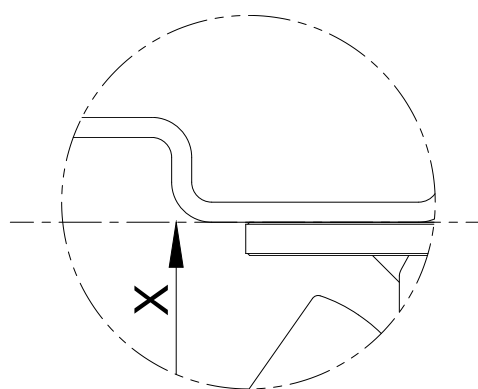


Klacci パニックバー 1200

SVR トップロッドの長さ = $2131 - 1006 - (95 + 114) = 916\text{mm}$



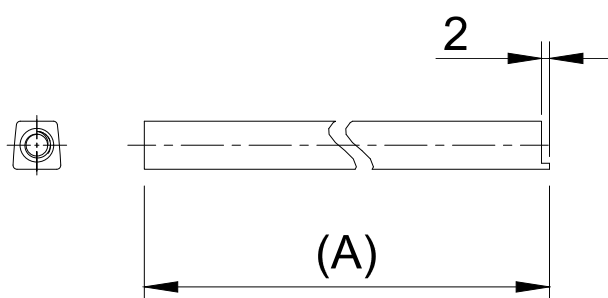
(X)=床面から枠とあたり部下面



A詳細
SCALE 5:1

ドアの高さ	トップロッドの長さ(A)
2,133mm	916
2,438mm	1221
3,048mm	1830(1221+609)

(X)=床面から枠とあたり部下面



計算式 : (A) = $2,131 - 1,006 - 95 - 114$

$A = X - 1,215 (1,006 + 95 + 114)$

Klacci 1200シリーズの調整方法

- 1) ドアにパニックバーを設置した後、トップロッドとボトムロッドのリトラクター（ラッチを引っ込めるための機構）を調整していきます。
- 2) リトラクターを中央に移動させ、可動範囲の中央に合わせます。
（この作業をトップロッドとボトムロッドの両方で行います）
- 3) トップロッドをトップラッチに接続し、ロッドを回しながらラッチのネジに取り付けます。
- 4) ロッドのコネクティングバーをリトラクターに接続し、ネジの穴を正確に合わせてください
- 5) コネクティング・バーのコネクティング・ネジを丸穴の方を二つだけリトラクターの両側に固定します。
- 6) プッシュバーを押し込んだ状態にしてください。
- 7) プッシュバーを押しながらドライバーで調整ネジを回し、トップラッチから「カチッ」という音が聞こえ、ラッチが完全に引き込まれるまでねじを回します。
- 8) カチッという音と共にデッドロックのラッチピースが上に突き出ます
- 9) 次に、ボトムロッドとボトムラッチを取り付けた後、トップラッチと同じようにボトムラッチを調整します。
- 10) プッシュバーを押し込んだ状態にしてください。
- 11) プッシュバーを押し込んだ状態で、ドライバーで調整ネジを回しボトムラッチがカチッという音が聞こえるまで又、完全に引き込まれるまでねじを回します。
- 12) ボトムラッチとトップラッチの機能を確認するためプッシュバーを押します。
- 13) トップラッチが引き込まれているかを確認します、そしてボトムラッチも完全に引き込まれているかを確認します。
- 14) 次に、ラッチを押して解除します。デッドロック機能が正常に動作しているかを確認します。
- 15) プッシュバーを押して、トップロッドとボトムロッドが、きつすぎないことが重要です。 適度な動きの余裕があることを確認します。
- 16) 4本のネジをすべて固定をして、トップロッドリトラクターとボトムロッドリトラクターの取り付けは完了です。